



【日本手ぬぐい】活用法～防災編～

防災の観点から見た手ぬぐいの使い方をご紹介します。

薄くてかさばらず、濡れてもすぐに乾く優れものなので、常に持っておきたいですね。

☆マスク代わり☆

火災が起きたとき、煙や灰を吸わないように口元を覆うようにして後頭部で結べばマスクになります。

☆包帯代わり☆

生地が手で裂きやすいので、ケガによる応急処置も、包帯として止血できます。

また、低刺激で肌あたりがやわらかく、かぶれにくい綿素材なので安心です。

☆ロープ代わり☆

細かく裂いたものを本結びで繋げばしっかりとしたロープになります。

☆暑さ対策に☆

水に浸して首に巻くと、気化熱による冷却作用で熱を下げられます。

☆寒さ対策に☆

綿は風を通しにくいので、そのまま首に巻くだけでも寒さをしのげます。

カイロを包んで巻けば、さらに温まります。

☆赤ちゃんの布オムツ☆

紙オムツが一般的でないころは、手ぬぐいが使われていました。

通気性がよくムシにくいので快適なことに加え、洗ってすぐ乾くので衛生的です。



【日本手ぬぐい】活用法～ペットボトルホルダー編～

持ち運びに便利なペットボトルホルダーをご紹介します。手ぬぐいがペットボトルの水滴を吸い取ってくれるので、カバンの中に入れても濡れる心配がありませんね。

①手ぬぐいの端を少し折って
ペットボトルを置く

②折った両端をキャップの
下で結ぶ

③ボトルを包むようにして巻き
つけてボトルの底部分を結んだ
ら、下の部分を細くねじる

④ねじった先を②の結び目の下
に



手ぬぐいの歴史

初めは、神事の際の装身具として珍重されていましたが、江戸時代のころに、庶民の生活必需品として広く使われるようになりました。文字通り「手」を「拭う」と書くように、手や体を拭いたり、汗を拭いたりしました。また、頭にかぶり日よけとして利用したり、手ぬぐいの柄に意味があり、お守りとして身に着ける場合もあります。

ほかにも、つっぱり棒を利用したのれんにしたり、インテリア、ランチョンマット、ラッピングなどに活用するのもおすすめです。

新築・増改築は
もちろん、キッチンや
トイレの改修など
ちょっとした事でも
お気軽に
ご相談下さい！！

定休日のご案内

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※丸の付いている日が定休日です。